

## 2007仮説実験授業研究会 冬の玉名大会での分子模型作り

2007. 1. 29 小樽分子模型の会 齋藤一郎

[ichirokasetu@yahoo.co.jp](mailto:ichirokasetu@yahoo.co.jp) <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

1月4日～6日の3日間、熊本県玉名市の白鷺荘別館を会場に「2007仮説実験授業研究会 冬の玉名大会」が開催されました。ボクは4日の全体会で「《結晶》は気持ちよかった」と「分子模型を作ろう」を発表し、「《ゴミと環境》2006年7月パワーポイント版」の紹介をしました。4日の夜は《結晶》のナイターに参加し、愛知の山田芳子さんが改訂作業を行っている《結晶》について12時過ぎまで検討を行いました。また、5日の分科会は「酸化チタンの分子模型作り」に参加し、愛知の山田正男さんに酸化チタンの作り方を教えてもらいました。5日の夜は「分子模型作りナイター」を企画し、ドライアイスと黄鉄鉱を作ってもらいました。その分子模型作りのようすをお知らせします。

### 紙の組立台で作る分子模型を作ろう

冬の大会で初めて分子模型作りのナイターを企画しました。最近では夏の大会のナイターで分子模型を作ってもらおうことが当たり前になってきて、自分としてはうれしい状況になっています。前回の冬の高知大会では売り場で分子模型作りをしてもらっただけで、ナイターを企画しなかったのですが、今回は早い段階から分子模型作りのナイターを行いたいと思い、愛知の山田正男さんとも連絡を取り、紙で組立台を作るドライアイスや黄鉄鉱、方解石を作ってもらおうと考えました。

### まずは紙製の組立台作りから

5日の夜8時にナイターの会場に行くともう何人が会場で待っていました。こんなことは初めてだったので、ちょっとあわてましたが、足りなかったはさみがそろった頃には、だんだんと落ちついて話すことができるようになりました。

最初は画用紙に印刷したドライアイスの



組立台を切り取り、組み立てる作業を行いました。途中、正男さんも来てくれて、手伝ってくれましたが、参加者が教え合ってくれたので、1時間ちょっとで組立台がどんどんできていきました。

### 球が足りなくなっていました

紙の組立台ができあがった人から、ドライアイスや黄鉄鉱の部品を作ってもらいました。

予想以上にたくさん参加してもらったのはうれしかったのですが、発泡スチロール球が足りないことに気づき、参加者に不自



由な思いをさせてしまったのですが、みなさん、譲り合ってくれて、ドライアイスを13人、黄鉄鉱を3人が作ってくれました。

冬の大会は参加者が少ないですが、ナイターの数も少なく、分子模型作りに来てくれた人が多かったようです。

### 組立は板倉講演を聞きながら

夜も10時や11時になると疲れが出てきます。仮説実験授業研究会の大会は昼間も全体会や分科会をしっかりとやっているのので、眠気が起きても当たり前です。参加者からBGMをかけてほしいと言う要望があったので、売り場に行って音源を探しましたが、適当なものがありませんでした。でも北海道の前田さんが板倉講演をMDに録音していたので、早速借りて、流すことにしました。かえって寝てしまう人が出るかなと思ったのですが、逆に集中できたようで、ドライアイスと黄鉄鉱がどんどんできていきました。



### 終わったのは1時過ぎ

ドライアイスや黄鉄鉱が終わって、残った球でセルロースやブドウ糖を作ってくれた人もいました。結局、終わったのが1時過ぎでしたが、みんな満足してくれたようなのでうれしかったです。



来年は埼玉で冬の大会が行われます。来年はもっとたくさん球を準備して、たくさんのひとにおもいきり作ってもらおうと思っています。